

小川卓球スポーツ少年団

県ホープス卓球選手権大会

で大活躍！

十一月六日、益子町勤労者体育館で行われた第二十三回栃木県ホープス卓球選手権大会でホープス（小学六年生以下）女子の部で川上愛可さん（小川小五年）が初優勝しました。

準決勝では、この大会四連覇中の豊田真望子さん（小川小五年）を3対2で降すと、決勝も3対1で圧勝し、全日本予選に続いて連続優勝しました。また、カブ（小学四年生以下）女子の部では関陽香さん（小川小四年）も準優勝を射止めました。

今回入賞した三名は来年三月に開催される全国選抜大会の県代表候補となります。



第24回県北少年剣道大会

十一月三日、二十四回を迎えた県北少年剣道大会が小川体育館で開催されました。

二十団体、二百二十四名が参加した開会式で、大会会長の渡辺町長職務執行者は「自分で責任をもつ心、ルールを守る心、相手の気持ちを思いやる心の三つの心をもって、試合に臨んでほしい」とあいさつ。小川小秋元梢選手による力強い選手宣誓の後、日ごろの鍛錬の成果を十分に発揮した鋭い立会いが見られました。

なお、那珂川町からの入賞者は次のとおりです。（敬称略）
四年男子 第三位 星 侑貴

高齢者との交流活動

小川小

十一月十六日、小川小学校体育館で一年生三十七名が小川地区福寿会員六名と交流しました。

この活動は、高齢者との交流を通して、高齢者への尊敬や思いやりの心を育てることをねらいとして、毎年行っているものです。

この日は、「あきとあそぼう」というテーマで、グループごとに落ち葉や木の実を使ったおもちゃ、竹とんぼや水でつぼづくりを行いました。児童たちは、高齢者といっしょに木の葉をパウチしたりや松ぼっくりの首飾りなどの製作を楽しみました。



県学校音楽祭中央祭合唱の部で小川中学校が金賞受賞

十月二十四日、二十五日の二日間、にわたり宇都宮市文化会館で開催された第三十三回栃木県学校音楽祭中央祭の中学校合唱の部で、小川中学校が二年連続金賞を受賞しました。

この合唱部は臨時に希望者を募って特別設置した部で、七月からの短期間の練習にもかかわらず、「走る川」を女性二十八人、男性十二人の四十人で歌い、みごと金賞を射止めました。

指導した山口智子教諭は、「希望して入部した生徒たちです。毎日熱心に練習し、最後まであきらめないという気持ちの結果を出したのだと思います。正に、継続は力なりです」と話していました。



クリーンキャンペーン

十一月十二日、まほろばゆうゆう園小川周辺河川敷でリパーククリーンキャンペーンが那珂川連邦共和国運営協議会主催により行われました。

「清流那珂川は私たちにとって豊かな自然と歴史や文化を育んできました。美しい那珂川を未来に引き継ぎましょう！」を合言葉に組合員など約三百名が参加して行われました。

この日の活動は、河川敷に散乱している空き缶などを約一時間に渡って拾いました。



御前岩ライトアップ

十一月五日、大山田下郷地内にある「御前岩」周辺がライトアップされ、観光や紅葉を見に訪れた方を楽しませてくれました。このライトアップは、御前岩物産センターなどが中心となって、ひと味違った「御前岩」を楽しんでもらおうと昨年から実施しています。訪れた方はライトアップされた御前岩から大河内橋までの歩道を歩きながら、風情ある紅葉を満喫していました。また、特設ステージではオカリナコンサートなども行われ、せせらぎの音とオカリナの音色に静かに耳を傾けていました。



広重紅葉まつり

十一月十九日、第二回広重紅葉まつりが行われました。

今回は商店会の女性部が中心となって東海道五拾三次の切り絵が町内6カ所の「まちかど美術館」に展示されました。役場前お祭り広場では、まほろば語りの皆さんによる「昔語りおはなし会」や農産物の販売などが行われました。

また、夕方からは広重美術館の無料開放、鳥山女子高校箏曲部などのコンサートなども行われました。



ゆりがねマラソン大会

十一月二十日行われた第二十四回ゆりがねマラソン大会で那珂川町の上位入賞者は次のとおりです。お疲れ様でした。

上位入賞者（敬称略）

2 km 親子ペア

2 位 石井俊一・千葉美（小砂）

2 km 小学生女子

1 位 桐花みなみ（馬頭小）

3 位 高林 佑伊（大内小）

3・5 km 中学生男子

3 位 磯野 佑介（馬頭中）

3・5 km 中学生女子

2 位 谷川原 恵（馬頭中）

5 km 中学生男子

1 位 高野 寛（馬頭中）

2 位 渡辺 貴好（馬頭東中）

5 km 一般男子

3 位 大森 達也（馬頭）

10 km

2 位 石井 成美（小口）

